

分析のフレーム 1

強み

- A
 - ・ いろんな考え方、個人で出来ないことができる
 - ・ 他大の学生との関わり→医者になってから
 - ・ お金がある
 - ・ 意見交換
- B
 - ・ 目標は同じ、意識は同じ
 - ・ 出身大学が異なる点→多様性
 - ・ 悩み・情報など共有できる→スタートライン一緒
 - ・ 後期研修で制限されているのが
内科・外科・産婦・総診なので、広く疾患をみる機会はある
- C
 - ・ 交流ができることで将来先輩とのつながりがしやすい
 - ・ 色々な大学の人が集まる多様性
- D
 - ・ 長野に残るという志
 - ・ 将来へのつながり
 - ・ 他の大学の人や状況(情報)とつながれる
 - ・ 病院見学がめんどくない

弱み

- A
 - ・ 自由度 研修先
 - ・ ライフイベント ex) 出産
- B
 - ・ 交流回数の少なさ
 - ・ やらされ感
 - ・ 情報共有がちゃんとしていけるか
 - ・ 将来設計が長野に限定
留学とか考えにくい？
 - ・ 制限の存在で、自分のしたいことがあった時に確認とる必要
- C
 - ・ 組織の意識が薄くて強みを生かしきれない
 - ・ 9年
 - ・ 場所のしぼり

- D
- ・ 長野という 3000m の壁に閉じこめられる…閉鎖的
 - ・ (つながりが) 本当に活かせるの？
 - ・ 将来へき地医療に関わるのが必須

↓

行きたい科や場所ができれば…

選択肢が…

- ・ 医者になることが運命づけられる

分析のフレーム 2

強みを生かす方法

- A
- ・ 医者になってからのつながり→病院間のつながりになっていく
 - ・ 研修会に参加する
- B
- ・ LINE グループの活発化←先生以外
 - ・ 関東で開催して貰う
 - ・ 卒後、まず懇親会。定期的に飲み会！
 - ・ 各研修病院での生活について、学生相手にプレゼンもしくはサイト開設
 - ・ 患者情報の共有
- C
- ・ 研修医の先生や上級生がなんとかする
 - ・ 組織を生かして仲間をふやす
- D
- ・ 情報をストックできる場所
(他の人や病院で学んだ、失敗したことをつづやける)

弱みを克服する方法

- A
- ・ 研修会の参加しやすさ ex) 同じセミナーを別の場所で。増やす、開催地など
小規模でも、科ごとなど
病院ごとの強みを聞ける、知る
 - ・ たすきがけ→県外の病院を選択肢に入れる
 - ・ 卒後からはじまる義務年限をライフイベントに合わせて始める
- B
- ・ 選べる病院の制限を広げる
 - ・ 交流の機会を増やす→やる気上げる為に

- ・ 先輩から体験記を書いて貰う
- ・ 県をまたいでのトレードオフ

- C
- ・ 酒
 - ・ 好きな9年

- D
- ・ 地域間での医師のトレード(学生からも)
 - ・ 県域をまたいで医療をする時に他県とのコミュ
 - ・ 護身術を習おう